

文字の表示位置を上や下の様に、上下にずらしたり、普通の文字の間の「AB」の文字間を「A B」の様に文字間を離したり、逆に、「AB」のように文字間をくっつけたりできます。

これを利用すれば、自分の名前のロゴを、例えば、「栗野俊一」の様に作る事ができます。

ロゴを利用する度に、この面倒な命令を正しく書くのは大変なので、次のようにマクロを定義し、それを利用すると良いでしょう。

マクロが定義されれば、栗野俊一、栗野俊一、栗野俊一と、何度でも、気軽に利用する事ができます。

自分の名前で、ロゴを作ってみましょう。